

健保だより

第74号

予算報告

4年連続の赤字予算

当組合の平成14年度予算が、去る2月20日に開催された組合会において承認されましたので、そのあらましをお知らせします。

平成14年度予算まとまる

●健康保険組合を取り巻く状況●

全国の健康保険組合を束ねる連合会は、「平成14年度健康保険組合予算見込状況」を発表しました。

それによると、加入組合の9割以上が赤字予算となりました。

なかでも、現役が大部分を負担している高齢者医療費の拠出金（老人保健拠出金と退職者給付拠出金）は14年度も増加し、保険料収入の44%に達しています。4分の1以上の組合は、拠出金の負担割合が収入の50%を超え、これらの組合にとっては、何のための保険料かわからなくなっている状況です。

一時期、全国で1800あった健保組合は、解散等により減少し、今年4月には1695組合となりました。解散の事由は、拠出金の負担に耐えられなくなったことによります。

組合を解散すると、政府が中小企業のために設立した政府管掌健康保険（政管健保）に加入することになりますが、14年度の政管健保の予算は、10月からの法改正による収入のプラス予想を織り込み、また、人間ドック事業の廃止等保健事業を削除し、さらに予備費を計上しないことにより、赤字額を今までの積立金の範囲内に納めて、財政破綻を回避する予算としました。

従って、政管健保の予算は、予備費が計上されていないことにより、インフルエンザの流行や予期せぬ災害に対して備えのない予算となっています。

以上のとおり、健康保険組合を取り巻く環境は、切羽つまった状況になっています。

●政府の医療保険制度改革案●

現在、政府が国会に提出している改革案の内容は、「改革」とは名ばかりで、被保険者の保険料の増額と患者の医療費負担を大きくするだけで、医療費の削減には、大きく踏み込まず、政府の負担割合は削減する等、場当たりの財政政策にとどまり、構造的な根本問題は「またもや」先送りしています。

この改革が、各健保組合の財政に与える収支回復効果は、ほとんど期待できません。

今回の改革は、多くの健保組合が「今度こそは」と期待していただけに、失望感が広がっています。この国の、今の政治家や官僚の手では「改革」は不可能ではないかと思われます。

当組合の平成14年度予算

健康保険勘定

平成14年度の保険料率は、財政再建3か年計画の2年目の計画に基づいて、2%アップする83%となりました。

しかしながら、当組合の平成14年度予算に対し「医療保険制度改革」による財政好転への影響はほとんど無く、老人保健拠出金はますます増大し厳しい状況が続いています。

収 入

収入の大半を占める保険料収入は、保険料率の2%アップにより22億6百万円で、昨年度予算と比較し86百万円増加しています。

収入合計は、繰越金の88百万円と別途積立金繰入の1億27百万円を含め25億30百万円で、経常収入合計は、22億64百万円となりました。

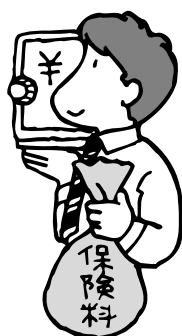
支 出

支出は、保険給付費が12億55百万円で、昨年度予算と比べ6.6%（89百万円）減少しました。

問題の拠出金は、9億円で、保険料収入の41%になりましたが、当組合は、特定健康保険組合として退職者給付拠出金が1億84百万円免除されています。

平成14年度予算（健康保険勘定）

科 目	予 算
収 入	
保 険 料	2,206,200千円
* 調 整 保 険 料	33,371
* 繰 越 金 ・ 繰 入 金	215,506
* 財政調整事業交付金	16,686
雑 収 入 ・ そ の 他	57,779
計	2,529,542
支 出	
事 務 費	103,228
保 険 給 付 費	1,255,148
（ 法 定 給 付 費 ）	1,228,936
（ 附 加 給 付 費 ）	26,212
拠 出 金	899,811
（老人保健拠出金）	860,718
（退職者給付拠出金）	39,093
保 健 事 業 費	168,795
* 財政調整事業拠出金	33,371
そ の 他	6,431
* 予 備 費	62,758
計	2,529,542
収入支出差引額	0
経 常 収 入 合 計	2,263,978
経 常 支 出 合 計	2,433,113
経常収入支出差引額	▲169,135



老人保健拠出金は、8億61百万円で、昨年度予算と比べ14.6%（1億9百万円）の大幅な増加でした。

保健事業については、昨年度予算とほぼ同じ規模の1億69百万円になりました。

以上により支出合計は、予備費を含め25億30百万円で、経常支出合計は、24億33百万円となりました。

経 常 収 入 支 出 差 引 額

この結果、経常収入支出差引額は、1億69百万の赤字で、4年連続の赤字予算となりました。

介護保険勘定

支出は、介護納付金見込み額が算出式により1億74百万円でしたが、平成12年度の納付金の過払いの精算等により、支出合計は、1億60百万円になりました。

収入は、支出を賄うため、組合会で決められた式に基づいて介護保険料を求め、収入額を決めた結果、昨年度予算より14百万円減の1億60百万円でした。

平成14年度予算（介護保険勘定）

科 目	予 算
収 入	
介 護 保 険 収 入	160,057千円
雑 収 入	40
計	160,097
支 出	
介 護 納 付 金	152,130
介護保険料還付金	500
積 立 金	7,467
計	160,097
差 額	0

以上のとおり、当組合の財政は非常に厳しく、一日も早い、国による健康保険制度の抜本改革が待たれます。

つきましては、皆様におかれましては、これからも健康管理に留意されると共に、組合が置かれている厳しい財政状況をご賢察のうえ、引き続き医療費の節減にご協力くださいますようお願い申し上げます。

注1：経常収入および経常支出は、それぞれの収入、支出合計から*印の項目を控除したものと

一般保険料率・調整保険料率の変更

財政再建3か年計画で平成14年度の健康保険料率は、81%から83%へ改正しました。（一般保険料率と調整保険料率は、次のとおりとなりました。）

一般保険料率	81.79%
調整保険料率	1.21%
健康保険料率	83.00%



介護保険料率の変更

平成14年度の介護保険料率は、9.4%から8.6%となりました。

国民年金第3号被保険者の届出に関する事務の取り扱い

当組合の加入事業所（会社）における標記の取り扱いは、次のとおりとしました。

国民年金第3号被保険者の届出は、事業所から管轄の社会保険事務所に届出る。

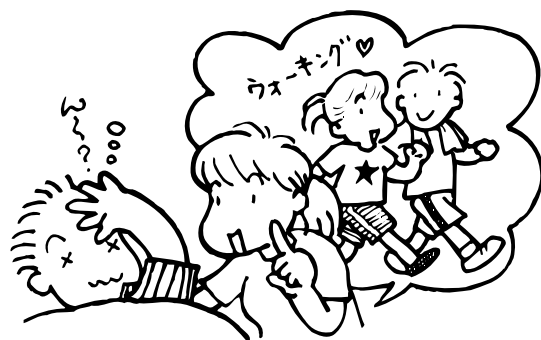
届出の方法は、基本的には事業所（会社）を管轄する社会保険事務所の指示によります。

なお、特例退職被保険者および任意継続被保険者は、会社勤めをしていませんので、この取り扱いは、いたしません。

「健康日本21」について(その2)

前号では、「健康日本21」の主旨と項目①の栄養・食生活を紹介しましたが、今回は、項目②～④を紹介します。

身体活動・運動



日常よくからだを動かす人や運動している人は、虚血性心臓病、高血圧、糖尿病、肥満、骨粗しょう症、結腸がんなどになりにくく、また死亡する率も低いことがわかっています。高齢者でも、よく歩くなどの日常の活動は、寝たきりなどを防ぐ効果があります。

成人は…

- 日常生活の中で意識してからだを動かす時間を増やしましょう。
- 1日1万歩を目標に、せめて今より1000歩（約10分間）多く歩くようにしましょう。
- ウォーキングなどの運動を1回30分以上、週2回以上行うのを習慣づけましょう。

高齢者は…

- 1日20分程度のウォーキングや散歩、あるいは1日10分程度の体操をしましょう。
- 趣味や稽古事をしたり、地域活動やボランティア活動に参加しましょう。

健康日本21の項目と目標の概要

①栄養・食生活	をバランスよく
②身体活動・運動	を日々の習慣に
③休養・こころの健康	づくりも忘れずに
④たばこ	ストップ
⑤アルコール	は適量に
⑥歯の健康	は元気の基本
⑦糖尿病	予防と早期治療を
⑧循環器病	生活改善でまず予防
⑨ガン	予防と早期発見

前号で
紹介

今月号で
紹介

休養・こころの健康づくり



ストレス過剰社会といわれる昨今、個々人が上手にストレス解消を図っていくことも必要です。また、こころの健康維持には、心身の疲労回復と人生を充実したものにするための休養も欠かせません。

- 自分なりのストレス解消法をみつけましょう。
- 睡眠不足にならないよう、十分な休養時間を確保しましょう。
- アルコールや薬に頼らず十分な睡眠をとれる工夫をしましょう。
- 休暇を、スポーツや旅行、ボランティア活動など、積極的な休養に役立てましょう。
- うつ病などに陥っている人を早期発見し、適切な対応をするための知識を身につけましょう。

たばこ



たばこは、肺がんをはじめ、喉頭がん、口腔・咽頭がん、食道がん、胃がん、膀胱がん、腎臓がん、すい臓がんなど多くのがんや、虚血性心臓病、脳卒中、慢性肺疾患、胃潰瘍、歯周病など、非常にたくさんの病気の危険因子であり、妊娠中では低体重児や流・早産の原因ともなります。

- たばこの危険性を知り、禁煙に踏み切りましょう。
- 一人では禁煙できないときは、禁煙外来などの禁煙プログラムを利用しましょう。